



レスター<3156>、PCIホールディングス<3918>をTOBで子会社化



レスターは9日、組み込みソフトウェアなどIT製品開発のPCIホールディングスにTOB（株式公開買い付け）を行い、子会社化すると発表した。レスターは資本業務提携するPCIに現在5.83%出資するが、TOBを通じて所有割合を50%超に引き上げる。買付代金は54億2100万円。親子関係をつくり、業務上の協力や連携を深化させる。両社が強みとする車載、産業機械、ICT（情報通信技術）市場の深掘りや海外、民生、建機、セキュリティ一分野での相互補完などを進める。TOB成立後もPCIの東証スタンダード市場への上場は維持される。

PCI株の買付価格は1株につき1210円で、TOB公表前日の終値849円に42.52%のプレミアムを加えた。買付予定数の上限・下限は所有割合44.67%にあたる448万株。買付期間は8月13日～9月20日の28営業日。決済の開始日は9月27日。公開買付代理人はSMBC日興証券。

PCIはTOBに賛同を表明する一方、TOBに応募するかどうかについては株主の判断に委ねることを決めた。

PCI創業者で会長の天野豊美氏と親族の資産管理会社であるY&U（東京都千代田区）が所有する5.64%の株式についてはTOBへの応募が予定されている。

PCIの前身は2005年に設立したM&Sで、ITシステムの開発・運用などを開始。2006年に持ち株会社制に移行し、07年に現社名に改めた。2015年に東証マザーズ市場に上場し、16年に東証1部に昇格。2022年4月に東証プライム市場に移行した後、23年10月に東証スタンダード市場に変更した。

レスターは2018年にPCIと資本業務提携し、部材調達や営業サポート、技術支援などの協業を進めてきた。ただ、緩やかな資本関係では両社のを目指す方向性や利害が一致せず、相互に取引先の延長としての存在にとどまることから、相乗効果の創出に限界があったという。